

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

今年度第2弾の講演会は、私の母校での開催です！

「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2025年度の活動第2弾は、2017年から講演を行っている苫小牧工業高等専門学校(苫高専)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

苫高専での講演ですが、例年同様技術士第1次試験願書提出前の開催となりました。先生の話によると、この講演を聞いた直後が最も受験動機に繋がるとのことでした。そこで今回は、更なる学生たちのモチベーションアップを期待して、新たな取り組みにチャレンジしました。

2. 実施概要

開催日時：2025.6.17(火) 13:00～15:00

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：創造工学科 都市・環境系

都市・環境コース 4年生 計37名

参加幹事：小澤、木本、千葉(記)(ミライ研3名)

巻口、塚田(青技交2名)。

苫高専での講演は、創造工学科の都市・環境系の渡辺先生(技術士)の力強いバックアップがあって実現させてもらっています。

新たな試みですが、渡辺先生からのちょっとしたリクエストがきっかけでした。いつもは講演の最後に質疑応答の時間を10分設けているのですが、時間が短いためコンパクトな回答にならざるを得ず、「もう少し質疑の時間を増やせないか」との要望を頂き90+30=120分の講演会が実現しました。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

時間が延長されたのを良いことに、台本に無い余計なネタをちょいちょい混ぜてきます。笑。

最前列で聞いていた学生が「私のお父さん小澤さんと同じ会社で働いています」と、まさかの一言。一気に場が和み、とても柔らかい風が吹きました。



写真-1 同僚のお子さんを前にプレゼンする小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 農業土木の技術士の仕事(塚田技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは(株)ドーコンに勤務する塚田技術士(苫高専OB)から、「農業土木分野の仕事紹介と技術士一次試験に向けて」と題して発表を行いました。学生達にはあまり馴染みの無い“農業土木”という分野ですが、先輩のプレゼンを聞いて、多くの学生たちが興味を持ってくれた他、学生時代の過ごし方エピソードはとても参考になったようです。普段からとても落ち着いている塚田技術士ですが、後輩たちを前に珍しく力が入っていたようです。予定時間を5分も超過する熱盛プレゼンで、学生に想いを届けていました。



写真-2 身近な先輩、塚田技術士(青技交 幹事)

(2) 河川分野の技術士の仕事(巻口技術士)

続いて、(株)福田水文センターに勤務する巻口技術士(苫高専 OB)から、河川分野のコンサルタントの仕事と題してプレゼン発表を行いました。

河川分野のコンサルタントとして、クライアントが困っている問題に対し、自身を川のお医者さんに例えて、どのような処方箋(解決策)を提案してきたかを、具体例を交えて説明してくれていました。

巻口技術士には、2018 年から連続で講演を行っていただいています。今手掛けている仕事は、ゲームエンジンを使い、仮想空間で流量観測を体験できるシミュレータの開発というものでした。まさに最先端の技術を目の当たりにして、学生たちも興味津々でした。



写真-3 大学生も兼務する巻口技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に、2 人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

先生からリクエスト頂いたコンサルタントにも様々な仕事があることを知ることで、自分の将来を

考える機会になればと考えて用意しました。

木本技術士が担当してくれているこの枠は、前段の部分で時間が押してしまうことが多く、いつも調整して講演してくれています。今日は後半の時間にゆとりがあったので、いつも以上に丁寧に話をしてくれていて、学生達も理解が深まったようでした。



写真-4 皆のミライを語る木本技術士(ミライ研 幹事)

6. 質疑応答

参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答ですが、30 分の時間をフルに使い渡辺技術士(先生)も回答者に混ざってもらいました。

「農業農村工学は学校で学ぶこと以外にどのような知識が必要か」、「内業と外業の割合は何対何くらいか」、「河川に関わる仕事の楽しさ、やりがいは何ですか」といった、今後の就職活動や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「名前のみ知っていた技術士という資格が取得を目指したいと思えるようになった」、「技術士補を受けようか迷っていたが、今回の講演を聞いて受ける決心がついた」等の技術士取得の動機その他、「街全体、社会基盤そのものをつくる」という話を聞いて、自分の学んでいる土木のスケールの大きさを感じました」等のコメントも頂けました。アンケートでは、34 人中 34 人が「名前だけは知っていた」「以前から、名前も内容も知っていた」等だったのに対し、37 人中 37 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は 5 段階評価で 4.6、4.7 と学生に高評価であったことも一因だったのではと考えています。